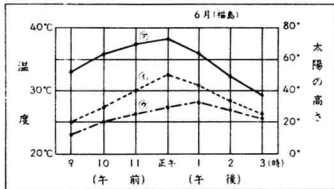
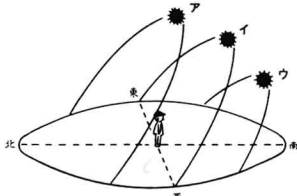


20. つぎのグラフは、太陽の高さ、気温、地面の温度の1日の変化を示したものです。地面の温度を表しているものを図のア～ウの中から一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。



□ 26

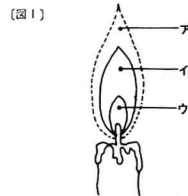
21. つぎの図は、季節による太陽の通る道すじを示したものです。昼と夜の長さが同じになる日があります。その日の太陽を図のア～ウの中から一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。



□ 27

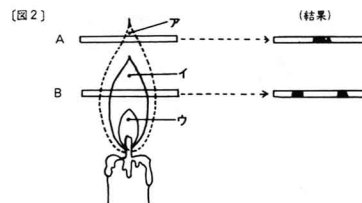
22. ろうそくのほのおについて、つぎの①、②の間に答えなさい。

① ほのおの中で、いざらば明るくかがやいて見えるのは、どの部分ですか。図1のア～ウの中から一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。



□ 28

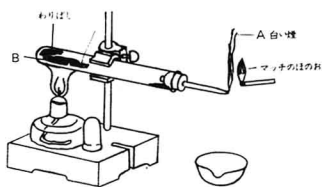
② ろうそくのほのおにA、Bのように、わりばしを同じ時間入れて、わりばしのこげようすを調べてみると、図2に示すような結果になりました。



この実験の結果から、ほのおでいざらば温度の高いのはどの部分といえますか。図2のア～ウの中から一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

□ 29

23. 試験管の中に、短く切ったかわいたわりばしを4～5本入れ、空気が入れかわらないようにして、つぎの図のような装置で熱して、変化のようすを調べました。①、②の間に答えなさい。



① 試験管の口もとにとりつけたガラス管の先から、白い煙Aが出てきました。この煙がいきおいよく出はじめたころ、その煙にマンネのほのおを近づけるとどうなりますか。□の中にそのようすを書きなさい。

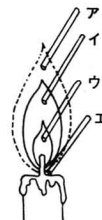
□ 30

② 白い煙がまったく出なくなるまで強く熱したあと、Bのものを取り出して燃やしてみました。どのようになりますか。つぎのア～エの中から正しいものを一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

- ア いきおいよくほのおを出して燃える。
- イ すずを出して燃える。
- ウ 燃えない。
- エ すみのようにまっかにならぬ燃える。

□ 31

24. ろうそくのほのおの中に、細いガラス管をさしこみ、ろうの気体をとりだし、その気体がもえるかどうか、たしかめる実験をしたいと思ひます。ガラス管を、ほのおのどの部分にさしこんだらよいでしょうか。図のア～エの中からもっともよい方法の一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。



□ 32

25. つぎの文は血液のはたらきについてのべたものです。①～③にあてはまることばを□の中からえらび、その記号を□の中に書きなさい。

血液は心臓から肺にいき、肺の毛細血管から①をうけとり、心臓にもどる。つぎに心臓からて小腸の毛細血管から②をとり入れ、全身に運ぶ。そして、全身にできた③を肺まで運び体外に出している。

- |   |       |   |     |
|---|-------|---|-----|
| ア | 二酸化炭素 | イ | 酸素  |
| ウ | ろー素   | エ | 消化液 |
| オ | 養分    |   |     |

1 □ 35

2 □ 36

3 □ 37